

## 第4学年 国語科学習指導案

指導者 古田土 由加里

### 1 単元名 3年生にクラブ活動の楽しさやよいところをしようかいしよう

#### 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「クラブ活動の楽しさやよいところをリーフレットに分かりやすくまとめて書き、3年生に伝える」ことを位置付けた。昨年度にクラブ見学を体験し、見たことや体験したことの基に入りたいクラブを選んだ経験をもつ4年生にとって、自分の所属するクラブ活動の楽しさやよさを伝える活動は、3年生の役に立ちたいという思いをかき立て、単元を通して学習意欲を持続させることができると考えられる。また、相手に伝わるように分かりやすく書くためには、具体的な事例を挙げたり、文の組み立てを工夫したりして伝えたいことを明確にしていくことが必要となってくる。これらのことから、第3学年及び第4学年「B書くこと」(1)ア「関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること」、ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

#### 3 単元について

##### (1)児童観

本学級の児童は、これまでに生活体験を基にした短作文や調査報告文、生活感想・意見文の書き方などについて学習してきた。

書くことに関する意識調査を実施したところ、「書くことが嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と回答した児童が\*名いた。嫌いな理由として「何を書いていいか分からぬ」「書きたいことがうまくまとまらない」などを挙げており、書きたいことの中心や文章構成がはっきり定まらないまま書き始まってしまい、行き詰まっている実態がうかがえる。また、「書くことが面倒くさい」といった理由を挙げた児童が\*名いたことから、書くことへの関心や意欲の低さが感じられる。

事前作文の内容を分析した結果に目を向けてみると、毎週木曜日の朝に設定されている「ミニ作文」の時間に、作文の書き方の問題にチャレンジするようになり、書くことへの抵抗が薄れつつあるが、実際に作文を書くと内容のまとまりを意識して改行している児童はまだ\*割未満程度にとどまり、段落意識がきちんと身に付いていないことが分かる。また、句読点を適切に打てなかつたり、語句が正しくなかつたりして文意の通る文章を書けない児童も\*割近くおり、文表記の仕方や文章構成力が十分に育っていない実態が見えてくる。更に、一文が長すぎて読みにくい文章も多く、読み手に分かりやすく伝えようとする意識が低いことがうかがえる。

##### 書くことについてのアンケート (第4学年\*組 \*名)

平成\*年\*月\*日実施

- 国語の学習で書くことは好きですか?
  - ・好き \*名 どちらかといえば好き \*名 どちらかといえばくらい \*名 くらい \*名
- 「どちらかといえばくらい」、または「くらい」と答えたわけ (複数回答)
  - ・何を書いていいか分からぬ \*名
  - ・どこで改行したらよいかが分からぬ \*名
  - ・書きたいことがうまくまとまらない \*名
  - ・書くことが面倒くさい \*名

##### 書くことに関する児童の実態

- ・内容のまとまりごとに改行している \*名
- ・文意の通る文章を書いている \*名
- ・書きたいことの中心が伝わるように書いている \*名
- ・一文の長さが適切である \*名
- ・句読点を適切に打っている \*名
- ・散体と常体が混在しないように書いている \*名

##### (2)教材観

本単元では、自分が体験したことや取材したことを基に、事柄ごとに整理して文章に書くことを学習する。ここでは、自分の所属しているクラブではどんな活動をしているのかを文章に書いて、写真と共にリーフレットにまとめる活動を設定する。あえて分かりにくくモデルを提示することで、3年生にクラブのよさを分かってもらうためには、伝えたい事柄ごとに整理して表し、具体例を入れたり表現を工夫したりしながら、分かりやすく書くことが大切であることに気付かせることができるものと考える。

### (3)指導観

書く活動の相手意識や目的意識をもたせるために、単元の導入で、3年生でクラブ決定したときのことを振り返らせ、全部のクラブ活動をじっくり見学することができなかつたことを思い出させる。

「もっと詳しく知りたいクラブがあった。」「クラブ希望調査の時、どのクラブにするか迷ってなかなか決められなかつた。」などの感想を発表させることで、自分の所属するクラブのよさを3年生にしっかりと伝え、クラブ選びの手助けをしたいという意欲を高めたい。そして、まずは同じクラブの仲間同士3人程度で集まり、自分の所属するクラブ活動の楽しさやよさを話し合い、付箋に書いて整理していく。それらを見ながら、他にもっとよさはないか問い合わせ、4年生よりも経験豊かな5、6年生や顧問の先生に聞くことを導き出し、取材の計画へとつなげていく。

書く活動では、特に意見交流の機会を多く取り入れていく。取材して得た情報を付箋に箇条書きにして持ち寄り、同じクラブの3人程度のグループで協議しながら内容ごとに仕分けをし、項目を付けることで、より内容が明確になり、自分の伝えたい内容が決めやすくなることが期待できる。文章の下書きを書く導入の場面では、あえて悪い例を提示し、どうしたらもっと分かりやすくなるか全体で話し合うことで、特に、①そのクラブにしかない特長が書けているか、②活動の様子が目に浮かぶように書けているか、③そのクラブに入りたい気持ちになるように書けているか、に気を付けて直すことができるようになる。また、推敲の仕方やリーフレットの書き方においては、「お宝カード」を見て参考にしながら書けるように支援していく。書き終わったら、違うクラブの者同士3人程度でグループを組んで読み合い、アドバイスし合いながらよりよい表現に書き換えていく。これらの書く活動を通して、本校のテーマである「複数の内容を含む文や文章を分析的にとらえたり関係付けたりしながら書く」ことに結び付けていきたい。

## 4 単元の目標

- 友達と積極的に意見交流をしながら、分かりやすく書こうとする。 (関心・意欲・態度)
- 自分が体験して実感したことや取材して得た情報を整理し、よさが伝わるように文章に書くことができる。 (書くこと)
- 句読点・改行・送り仮名などを適切に用いて文章を書くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・積極的に意見交流をしながら、分かりやすく書こうとしている。	・自分が体験して実感したことや取材して得た情報を整理し、よさが伝わるような文章を書いている。	・正しく句読点を打ったり、改行したり、送り仮名などを適切に用いたりして文章を書いている。

## 6 単元の指導計画 (10時間扱い) ○は本時

主な学習活動	主な評価
第1次 1 3年生で初めてのクラブ決めをしたときのことを振り返り、「3年生にクラブ活動の楽しさをしようかいしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。	・積極的に意見交流をしながら、分かりやすく書こうとしている。 (関心・意欲・態度)
第2次 1 リーフレットの文章の構成や書き方について知る。  2 取材メモを箇条書きした付箋を基に協議して、内容を分類し、自分の伝えたい内容を決定する。	・内容のまとまりごとに分けて文章に書いていることや、見出しと内容が一致していることを理解している。 (書く能力)  ・取材メモの付箋を読んで、内容ごとに的確に分類し、項目立てをしている。 (書く能力)

<p>3, 4 悪い書き方の例を見て、どのように直していくべきかを話し合い、注意することや書き方を確認して、下書きの文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話合いで分かったことを基に、分かりやすくするための注意点に気を付けながら、文章を書いている。 (書く能力)</li> </ul>
<p>第3次</p> <p>1 グループの友達の文章を読み、直した方がよい部分を見付けて、線を引いたり、付箋に書いたりする。</p> <p>② グループで互いの文章を読み返し、よりクラブのよさが明確に伝わる文章に書き直す。</p> <p>3, 4 リーフレットの構成などについて再確認し、完成させる。(清書)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく伝えるために直した方がよい文章を見付けて、アドバイスを考えている。 (書く能力)</li> <li>友達のアドバイスを参考にして、クラブ活動の様子やよさが伝わるように書き直している。 (書く能力)</li> <li>「お宝カード」の例から構成のよさを見付け、自分の作品に生かそうとしている。 (関心・意欲・態度)</li> <li>正しく句読点を打ったり、改行したり、送り仮名などを適切に用いたりして、文章を書いている。 (言語についての知識・理解・技能)</li> </ul>
<p>第4次</p> <p>1 文章を読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現のよさに気付き、感想を伝えている。 (書く能力)</li> </ul>

## 7 本時の学習

### (1)目標

グループでの話合いを通して、自分の入っているクラブ活動の様子やよさがより分かりやすく伝わるように、下書きを書き直すことができる。  
(書くこと)

### (2)準備・資料

学習計画表、振り返りカード、推敲のポイント、推敲の例（下書き、付箋）、お宝カード、下書き用紙、ビデオカメラ、プロジェクタ、スクリーン

### (3)展開

学習活動・内容	指導上の留意点
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div data-bbox="212 1388 806 1529" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>おたがいの文章を読み返し、伝えたいことがより分かりやすく伝わるように書き直そう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生からの手紙に触れ、クラブ選びの役に立ちたいという思いや、分かりやすい文章を書こうとする意欲を高められるようにする。</li> <li>本時の学習計画を掲示し、学習の流れを確かめることで、学習の見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> </ul>
<p>2 推敲のポイントと推敲の仕方を確認する。</p> <p>(1) 推敲のポイントを確認する。</p> <div data-bbox="212 1724 806 1949" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>そのクラブの特長が書けているか。</li> <li>活動の様子が目にうかぶように書けているか。</li> <li>そのクラブに入りたい気持ちになるように、書けているか。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「推敲のポイント」を提示し、分かりやすく書くためのポイントを確認しながら、本時の推敲は内容に絞ることを押さえる。</li> </ul>

- (2) 推敲の仕方を確かめる。
- ・書き直した方がよい部分に青線を引く。
  - ・書き直したものは、付箋に書く。
  - ・よさが伝わるように、分かりやすく詳しく書けている部分に赤線を引く。

3 グループで意見を出し合い、推敲する。

- (1) グループで意見を出し合う。

金かんクラブでは、今、2つの曲を練習しています。  
①  
よいえんそなうができるように、みんなで練習しています。  
②

【付箋 ①】  
「ありのままで」と「ガツツ」

【付箋 ②】  
むずかしいところは、  
できるようになるまで  
上級生がやさしくてい  
ねいに教えてくれます。

- (2) 各自分で推敲する。

- ・友達からのアドバイスを参考にしながら、自分で書き直す。

4 本時の学習を振り返る。

- ・分かりやすく書き直せた文章を見て、どのように分かりやすくなったのかを発表し合う。

・どんなふうに活動しているかが目にうかんできました。  
・楽しそうな様子がよく伝わってきました。

5 本時の振り返りを書く。

- ・活動の様子をくわしく書けば、3年生にもよく分かる文章になることが分かった。
- ・そのクラブに入ればできることを書くことで、そのクラブのよいところがよく分かるようになった。

- ・バッドモデルを提示し、教師が推敲の方法を実演することで、学習活動を視覚的にとらえられるようにする。

- ・前時に各自が考えておいた推敲箇所を友達と確認し、話し合いながら分かりやすい文に書き直すよう助言する。

- ・話合いが進まないグループには、よい例を載せた「お宝カード」を見せながら、直し方のポイントと一緒に確認する。

- ・詳しく書いていないグループには、「推敲のポイント」を確認するよう促す。

- ・グループ全員の推敲ができるように制限時間を決め、時間になつたら途中でも作業をやめるようにする。

#### 評価（書くこと）

友達のアドバイスを参考にして、クラブ活動の様子やよさが伝わるように自分の文章を書き直している。

（下書き用紙）

- ・なかなか意見が出ないときには、「推敲のポイント」を振り返り、どのように分かりやすくなったのかが見付けられるように助言する。

- ・友達との話合いを通してできたことや、できなかつたことを振り返りカードに書くことで、学習を通して身に付けたことや、次のリーフレット作りの課題に気付けるようにする。